



初登庁する岸本聡子区長

日本共産党

杉並区議会議員
党区議団長

くすやま 美紀

区長選挙で、区民は、前・田中
区長にノーの審判を下し、岸本聡
子区長を選挙。区民のための新し
い区政が動き出しました。
区政を前に進めましょう。



区政を
前へ

積極提案で区政をリード

くらし・住宅・気候危機・ジェンダー平等



【くすやま・みき】プロフィール

- ◆1963年、福島県喜多方市生まれ。
- ◆高校卒業と同時に上京し、観光専門学校で学んだ後、東友会（被爆者団体）事務局、西荻窪診療所（医療事務）等で働く。
- ◆19歳のとき、侵略戦争に命がけで反対した日本共産党の歴史に触れ入党。1999年杉並区議会議員選挙に立候補し初当選。現在6期目。
- ◆愛読書は原田マハ。趣味は、映画鑑賞、美術館めぐり、お菓子づくり。韓国ドラマにもハマっています。
- ◆好きな食べ物は焼肉、喜多方ラーメン。

みなさんに支えていただき、6期24年区議会議員として活動してきました。

私は、区民に背をむける田中・前区長に対しても「区民の声こそ原点」の思いで、区議会でもみなさんの切実な声を示し、家賃助成や給食費値下げなどを迫ってきました。岸本・新区政のもとで、私の提案が実施されようとしています。

岸本区長誕生で開かれた新たな可能性をいかし、「区民が主人公」の区政の前進、区民の切実な願い実現のために、全力を尽くす決意です。

9条改憲、大軍拡にノーを

くすやま美紀の質問が

区政を動かしました



気候危機

LED助成実現

気候危機対策を本会議でとりあげ、総力をあげた取組を提案。区は「検討」と答弁。2022年6月から、マンション、商店等のLED化へ上限30万円の助成が実現しました。

補聴器購入費助成

実施に向け検討

補聴器購入費助成の実施を繰り返し提案。区は「実施に向け検討している。中身が出来しだい、実施していきたい」と答弁しました。

ジェンダー平等

学校トイレに生理用品配置

世界から遅れをとっているジェンダー平等問題を本会議で4回取り上げ、生理の貧困、痴漢対策、パートナーシップ制度などを提案。学校トイレへの生理用品配置が始まりました。

区政をただす日本共産党

昨年9月、杉並区議会がテレビで報道されました。緊急事態宣言下に、田中区長が群馬県のゴルフ場に移動し宿泊したことを共産党区議団が追及する場面でした。

前区長の公用車乱脈運行の驚くべき実態も、共産党区議団の調査で明らかになりました。



TBSテレビ「Nスタ」より

共産党は区議会にはならない存在です。

くすやま美紀の提案

- 児童館・ゆうゆう館の廃止計画見直し
- 区立施設使用料の値下げ
- 国民健康保険料、介護保険料の抑制
- 学校給食費の無償化、就学援助の拡充
- 脱炭素化推進機器設置助成の拡充
- 商店街、個店への支援強化
- 荻窪駅のバリアフリー推進
- 西荻窪のまちづくりは住民参加で

住宅施策

家賃助成実施を表明

本会議で住宅政策を2回質問。高い家賃に苦しむ区民への家賃助成を提案。

区長は「助成制度を実施していきたい」と答弁しました。

給食費

値下げ実現へ

区が学校給食費を値上げしたことに対し、共産党区議団は値下げを申し入れるとともに、くすやま区議が文教委員会でも値下げを要求。区教委は4月にさかのぼって値下げの意向を示し、岸本区政のもとで値下げされました。

新型コロナ対策

在宅対応強化へ



テレビ朝日「ANN NEWS」より
(くすやま区議の質問場面)

区が連絡をとらなかつたために男性が自主隔離先の店舗で亡くなった事例で、男性が母親に送ったメールも紹介し、反省と対策強化を要求。連絡体制が強化されました。

息子のことを区議会で取り上げてくださり感謝

息子が保健所からの連絡を断たれ、亡くなったことについて、家まで訪ねてきて経過を聞いてくださり、区議会で取り上げていただきました。

ありがとうございました。(自主隔離先の店舗で亡くなった方のお母さんより)

お困りごとはお気軽にご相談ください。 ☎080-5531-8236